

第 44 回えいが部「グリーンディスティニー」(2000 年)

原題: 臥虎藏龍、英語題: Crouching Tiger, Hidden Dragon

剣の名手として武林にその名を知られた武当派のリー・ムーバイは、血で血を洗う江湖の争いに悩み、剣を捨てて引退することを決意する。そして、自身の名剣「碧名剣」(グリーン・デスティニー、原作では青冥剣)をティエ氏に寄贈するために、密かに恋心を抱いていた同門の弟子で、鏢局を営むユー・シューリンに託す。シューリンは碧名剣を無事に北京のティエ氏宅に届けるものの、その夜、剣は何者かに盗まれてしまう。

監督: アン・リー

- ・『推手』 (推手) Pushing Hands (1991)
- 『ウェディング・バンケット』 (喜宴) The Wedding Banquet (1993)
- 『恋人たちの食卓』 (飲食男女) Eat Drink Man Woman (1994)
- 『いつか晴れた日に』 Sense and Sensibility (1995)
- 『アイス・ストーム』 The Ice Storm (1997)
- 『シビル・ガン 楽園をください』 Ride with the Devil (1999)
- 『グリーン・デスティニー』 (臥虎藏龍) Crouching Tiger, Hidden Dragon (2000)
- 『ハルク』 Hulk (2003)
- 『ブロークバック・マウンテン』 Brokeback Mountain (2005)
- 『ラスト、コーション』 (色、戒) Lust, Caution (2007)
- 『ウッドストックがやってくる!』 Taking Woodstock (2009)
- ・『ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した 227 日』 Life of Pi (2012)
- 『ビリー・リンの永遠の一日』 Billy Lynn's Long Halftime Walk (2016) [5]
- 『ジェミニマン』 Gemini Man (2019)

<アカデミー賞受賞歴>

- 『グリーンディスティニー』 2000 年 作品賞他 9 部門ノミネート 外国語賞他 3 部門 受賞
- 『ブロークバックマウンテン』 2005 年 作品賞 ノミネート 監督賞 受賞
- 『ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した 227 日』
2012 年 作品賞 ノミネート 監督賞 受賞

出演 チョウ・ユンファ

- ・挽歌を吠う狼 執法者 (1981)
- ・相続ゲーム 你情我願 (1986)
- ・男たちの挽歌 英雄本色 (1986)
- ・誰かがあなたを愛してる 秋天的童話 (1987)
- ・男たちの挽歌 II 英雄本色 2 (1987)

- ・非情の街 義胆紅唇 (1988)
- ・狼 男たちの挽歌・最終章 喋血雙雄 (1989)
- ・ゴッド・ギャンブラー 賭神 (1989)
- ・アンナと王様 Anna and the King (1999)
- ・パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド

Pirates of the Caribbean: At Worlds End (2007)

- ・シャンハイ Shanghai (2010)
- ・モンキー・マジック 孫悟空誕生 西遊記之大鬧天宮 (2014)
- ・ゴッド・ギャンブラー レジェンド 賭城風雲 (2014)
- ・プロジェクト・ゲーテンベルク 無雙 (2018) (第 31 回東京国際映画祭で上映)

ミシェール・ヨー

- ・七福星(1985年)
- ・ポリス・ストーリー3(1992年)
- ・007 トゥモロー・ネバー・ダイ(1997年)
- ・SAYURI (2005年)
- ・ハムナプトラ 3 呪われた皇帝の秘宝 (2008年)
- ・カンフー・パンダ 2(2011年)
- ・スタートレック:ショートトレック (2018年)

チャン・ツイイー

- ・恋のきた道 我的父親母親 (1999) - 若き日の母・チャオディ (招弟) 役
- ・ラッシュアワー2 Rush Hour 2 (2001) - フー・リー 役
- ・ジャスミンの花開く 茉莉花開 (2004) - 茉莉/花 役
- ・SAYURI Memoirs of a Geisha (2005) - さゆり/ちよ 役
- ・ミュータント・タートルズ -TMNT- TMNT (2007) - カライ 役 (声の出演)
- ・グランド・マスター 一代宗師 (2013) - 宮若梅 (ゴン・ルオメイ) 役
- ・Godzilla vs. Kong (2020)

武俠世界において武術の使い手たちが使う軽功の動きを、ワイヤーアクションの技術で表現し、絵巻物のような美しい映像と組み合わせたことで、香港映画界の培ってきたアクションの技術の素晴らしさを世界中に示した。この新しいタイプの武俠映画の影響は、以後中華圏で制作される武俠映画に色濃く反映されただけでなく、世界の映画でワイヤーアクションの技術が使われる端緒となった。